

デザイン総合実習Ⅱ(地域コミュニケーション・総合系)※人間空間デザインコース

必修

開講年次：2年次後期

科目区分：実習

単 位：2単位

講義時間：60時間

■**科目のねらい**：メディア環境、コミュニケーションの形態が多様化する現在、自己と他、パブリックとプライベート、LGBTなどのジェンダー問題、人工知能との共生など我々を取り巻く社会において、私たちは新しい公共性、ワークライフバランスなどのソーシャルイノベーションを通じたライフスタイルを考える必要がある。本科目前半はパブリックスペースの新しい形態、システムの提案を考える。後半ではイノベティブなライフスタイルの提案を基に、社会的なソリューションに繋がる住まいや日常実践のアイデアを創造する。

■**到達目標**：①様々な社会状況の変化によるパブリックとプライベート、個と公の変化について理解する
②新しいメディア環境、コミュニケーションの形態を理解し、その優位、劣位を理解する
③様々な人の営み、そのスタイルの理解とそこにある問題を理解する
④空間（スペース）およびコミュニケーションに関する自由な発想力を養う

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎石田 勝也、山田 良、須之内 元洋

■**授業計画・内容**：

〈パブリックを考える〉

- 第1回 課題発表、事例研究（パブリックスペースを考え直す）
- 第2回 ディスカッション1（パブリックについて）
- 第3回 ディスカッション2（パブリックについて）
- 第4回 個別企画
- 第5回 課題制作
- 第6回 課題制作
- 第7回 成果発表及び講評

〈住まうということ（ソーシャルイノベーション／ワークライフバランス／コミュニケーション）〉

- 第8回 課題発表、事例研究（新しいライフスタイルを考える）
- 第9回 ディスカッション1
- 第10回 ディスカッション2
- 第11回 個別企画
- 第12回 課題制作
- 第13回 課題制作
- 第14回 課題制作
- 第15回 成果発表及び講評

■**教科書**：なし

■**参考文献**：講義中に適宜紹介します

■**成績評価基準と方法**：

評価方法	到達目標				評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③	到達目標④		
授業内演習・レポート	○	○	○	○		20
発表	○	○	○	○	プレゼンスキル	20
課題・作品	◎	◎	◎	◎		40
出席	○	○	○	○	2/3以上の出席必須	20
その他						

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：人間空間デザイン論、コミュニティデザイン論、環境芸術論、情報社会論、メディア芸術論、デザイン総合実習Ⅰ、デザイン総合実習Ⅱ（建築・環境）

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：前半の課題ではパブリックとは何か？ 公共性についての新しい発想を求めます。そのためには様々な事例や昨今の社会事情の理解が必要です。また建築・環境系の課題との関連も意識し、現実的でもありかつ未来を見越した夢のある企画を考えて下さい。一方で後半では個々人のこれからの生き方、そのスタイルがどのようにすれば多様性を維持しながら共生出来るのかを考えていきます。